



平成 24 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 24 年 2 月 2 日

上場会社名 株式会社ラピーヌ 上場取引所 東・大
 コード番号 8143 URL <http://www.lapine.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 市川 雅邦
 問合せ先責任者 (役職名) 社長室長 (氏名) 尾崎 史照 (TEL) 06 (6358) 2256
 四半期報告書提出予定日 平成 24 年 2 月 3 日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 24 年 3 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 23 年 3 月 21 日～平成 23 年 12 月 20 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24 年 3 月期第 3 四半期	9,086	△6.3	496	△4.1	466	△3.1	397	6.6
23 年 3 月期第 3 四半期	9,699	0.1	518	—	481	—	373	—

	1 株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24 年 3 月期第 3 四半期	15	71	—	—
23 年 3 月期第 3 四半期	14	74	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1 株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
24 年 3 月期第 3 四半期	13,641		7,386		54.1	291	66	
23 年 3 月期	12,952		6,966		53.8	275	07	

(参考) 自己資本 24 年 3 月期第 3 四半期 7,386 百万円 23 年 3 月期 6,966 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計	
	円	銭	円	銭	円	銭
23 年 3 月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00
24 年 3 月期	—	0.00	—	—	—	—
24 年 3 月期(予想)	—	—	—	1.00	1.00	1.00

(注) 当四半期における配当予想の修正の有無 : 無

3. 平成 24 年 3 月期の連結業績予想 (平成 23 年 3 月 21 日～平成 24 年 3 月 20 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	11,900	△6.6	250	△18.3	200	△19.5	100	81.8	3	95

(注) 当四半期における業績予想の修正の有無 : 有

4. その他（詳細は【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計方針の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 有

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年3月期3Q	27,670,642株	23年3月期	27,670,642株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	2,345,195株	23年3月期	2,343,555株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年3月期3Q	25,326,349株	23年3月期3Q	25,331,684株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）P.3「連結業績予想に関する定性的情報」及び本日別途開示する「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成23年3月21日～平成23年12月20日）におけるわが国経済環境は、3月に発生した東日本大震災及び原子力発電所事故により大きな打撃を受けましたが、その後のサプライチェーンの復旧による企業の生産活動の正常化や復興需要の高まりなどにより、緩やかな回復の兆しが見られました。しかしながら、夏場以降の欧州の金融・財政危機や世界的な景気の停滞懸念の高まりに加え、円高の長期化など景気の下振れリスクもあり、極めて不透明な状況で推移いたしました。

国内外の経済動向に予断を許さない状況が続く中、当アパレル業界におきましても、個人消費が緩やかな回復傾向にあるものの、雇用情勢の悪化懸念やデフレ傾向の長期化に加え、マーケットボリュームが拡大しない中、企業間競争の激化とも相まって、引き続き厳しい環境が続いております。

このような状況のもと当社グループは、中期経営計画「Vp1an2013」第2年度計画をベースに、震災の影響を見極めつつローリングし、商品の生産、販売の両面から業績確保のための諸施策に取り組んでまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高90億86百万円（前年同四半期比6.3%減）となりましたものの、第3四半期連結会計期間における売上高は、前年同四半期比1.3%減まで回復してまいりました。損益面におきましては、秋口のプロパー販売比率改善により売上総利益率が前年より0.9ポイント上回ったことや、販売費及び一般管理費の削減効果とあわせ、営業利益4億96百万円（前年同四半期比4.1%減）、経常利益4億66百万円（前年同四半期比3.1%減）まで回復し、四半期純利益は「資産除去債務に関する会計基準」適用に伴う影響額49百万円などを特別損失として計上したことなどにより3億97百万円（前年同四半期比6.6%増）となりました。

セグメント別の業績の概要は次のとおりであります。なお、当連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」を適用しており、セグメント単位の業績の前年同四半期比較にあたっては、前年同四半期を新セグメントに組み替えて表示しております。

<卸売事業>

専門店、百貨店各販路ともに震災直後の売上高の落ち込みがありました。5月以降の個人消費は緩やかながらも持ち直しの傾向が続き、下期に入って天候不順による冬物季節衣料の苦戦があったものの、前年同期に近い水準まで回復してまいりました。そうした中、消費者のニーズをとらえた新商品の開発、生産体制の見直しによる商品の適量適時コントロール、小売店頭の品揃え強化と販売促進策実施による店頭活性化など業績の確保に努めてまいりました。その結果、第3四半期連結累計期間の業績は前年同四半期を下回りましたものの、売上高は74億31百万円、営業利益は4億8百万円となりました。

<小売事業>

当期首において子会社の株式会社ベルラピカが運営する婦人服・婦人雑貨直営小売店36店とラピースが運営する直営小売店2店を運営しておりましたが、当第3四半期連結累計期間中に不採算店舗5店の撤退、新規出店2店を行い、当第3四半期連結累計期間末の店舗数は合計で35店となりました。

店舗の特性に合わせ、地域のお客様のニーズをきめ細かくとらえた品揃え適正化、各種販売促進策による新規顧客の獲得や既存顧客お買上げ点数の増加に努め、加えて店頭販売態勢の見直しや固定費の削減による単店舗毎の損益改善に取り組んでまいりました。その結果、第3四半期連結累計期間の業績は、売上高16億55百万円と前年同四半期を下回りましたものの、営業利益は前年同四半期を若干上回り88百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて6億89百万円増加し、136億41百万円となりました。これは主に、商品及び製品の増加3億38百万円や現金及び預金の増加3億12百万円等により流動資産が6億1百万円増加したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べて2億69百万円増加し、62億54百万円となりました。これは主に、短期借入金の増加4億80百万円等によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて4億19百万円増加し、73億86百万円となりました。これは主に四半期純利益の計上に伴い、利益剰余金が増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が4億26百万円となりましたが、たな卸資産の増加2億70百万円等の支出により、1億89百万円の収入（前年同四半期は7億69百万円の収入）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出1億25百万円等により、1億93百万円の支出（前年同四半期は1億79百万円の収入）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、社債の償還による支出90百万円、長期借入金の返済による支出65百万円等がありましたが、短期借入金の増加4億80百万円により、3億16百万円の収入（前年同四半期は2億11百万円の支出）となりました。

この結果、現金及び現金同等物の当第3四半期連結累計期間末残高は、前連結会計年度末に比べて3億12百万円増加して、29億2百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の通期の連結業績予想につきましては、当社グループを取り巻く環境並びに当第3四半期連結累計期間の業績進捗状況を踏まえ、平成23年11月1日に公表いたしました業績予想を修正いたしました。その詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

1 資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益はそれぞれ1,975千円、税金等調整前四半期純利益は51,578千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は57,399千円であります。

2 表示方法の変更

(四半期連結損益計算書)

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示していません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年12月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年3月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,902,105	2,589,540
受取手形及び売掛金	1,619,043	1,579,826
商品及び製品	2,462,508	2,123,599
仕掛品	207,865	327,392
原材料及び貯蔵品	96,084	44,633
繰延税金資産	143,880	154,563
その他	140,562	151,356
貸倒引当金	△3,820	△3,774
流動資産合計	7,568,231	6,967,138
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,374,344	1,374,035
機械装置及び運搬具（純額）	12,314	19,738
土地	3,341,243	3,341,243
その他（純額）	81,369	92,264
有形固定資産合計	4,809,271	4,827,281
無形固定資産		
のれん	3,794	15,176
その他	19,608	20,340
無形固定資産合計	23,402	35,516
投資その他の資産		
投資有価証券	441,800	406,191
差入保証金	753,128	663,079
その他	130,286	154,934
貸倒引当金	△84,822	△101,960
投資その他の資産合計	1,240,392	1,122,244
固定資産合計	6,073,066	5,985,042
資産合計	13,641,298	12,952,181

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年12月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年3月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,217,912	1,234,968
短期借入金	2,920,000	2,440,000
1年内返済予定の長期借入金	351,200	78,700
1年内償還予定の社債	620,000	120,000
未払金	148,318	255,413
未払費用	186,227	194,546
未払法人税等	24,113	40,491
返品調整引当金	111,900	118,800
ポイント引当金	25,489	30,900
その他	120,689	138,074
流動負債合計	5,725,851	4,651,893
固定負債		
社債	210,000	800,000
長期借入金	20,500	358,900
退職給付引当金	110,492	55,530
役員退職慰労引当金	101,366	93,608
資産除去債務	58,556	—
その他	28,069	25,598
固定負債合計	528,985	1,333,637
負債合計	6,254,836	5,985,530
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,354,021	4,354,021
資本剰余金	4,021,519	4,021,519
利益剰余金	△557,323	△955,099
自己株式	△354,376	△354,266
株主資本合計	7,463,841	7,066,175
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△77,379	△99,525
評価・換算差額等合計	△77,379	△99,525
純資産合計	7,386,461	6,966,650
負債純資産合計	13,641,298	12,952,181

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年3月21日 至 平成22年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年3月21日 至 平成23年12月20日)
売上高	9,699,339	9,086,402
売上原価	5,252,876	4,839,660
売上総利益	4,446,463	4,246,741
販売費及び一般管理費	3,928,014	3,749,744
営業利益	518,449	496,997
営業外収益		
受取利息	2,415	1,136
受取配当金	12,603	12,254
生命保険配当金	576	691
その他	21,662	22,146
営業外収益合計	37,256	36,227
営業外費用		
支払利息	66,508	60,277
その他	8,091	6,841
営業外費用合計	74,600	67,118
経常利益	481,105	466,106
特別利益		
固定資産売却益	—	1,465
投資有価証券売却益	2,883	—
事業所閉鎖損失戻入額	—	20,151
特別利益合計	2,883	21,616
特別損失		
固定資産除売却損	20,200	3,629
投資有価証券評価損	24,492	200
減損損失	995	381
事業所閉鎖損失	—	728
会員権評価損	400	6,580
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	49,602
その他	1,696	—
特別損失合計	47,785	61,123
税金等調整前四半期純利益	436,203	426,598
法人税、住民税及び事業税	15,757	15,230
法人税等調整額	47,168	13,593
法人税等合計	62,925	28,823
少数株主損益調整前四半期純利益	—	397,775
四半期純利益	373,278	397,775

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年3月21日 至 平成22年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年3月21日 至 平成23年12月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	436,203	426,598
減価償却費	105,739	125,128
減損損失	995	381
のれん償却額	11,382	11,382
固定資産除売却損益 (△は益)	20,200	2,164
事業所閉鎖損失	—	728
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	49,602
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4,140	326
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△15,800	△6,900
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	34,581	54,961
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	7,540	7,758
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△3,529	△5,410
事業所閉鎖損失戻入額	—	△20,151
受取利息及び受取配当金	△15,018	△13,390
支払利息	66,508	60,277
投資有価証券売却損益 (△は益)	△2,883	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	24,492	200
会員権評価損	400	6,580
売上債権の増減額 (△は増加)	108,049	△39,216
たな卸資産の増減額 (△は増加)	91,407	△270,833
仕入債務の増減額 (△は減少)	50,466	△17,055
未払消費税等の増減額 (△は減少)	8,908	△24,523
その他	△89,080	△89,770
小計	844,705	258,841
利息及び配当金の受取額	14,612	12,681
利息の支払額	△68,191	△61,778
法人税等の支払額	△21,245	△20,583
営業活動によるキャッシュ・フロー	769,880	189,159
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△44,539	△125,281
有形固定資産の売却による収入	—	2,934
投資有価証券の取得による支出	△6,604	△13,681
投資有価証券の売却による収入	9,491	—
会員権の売却による収入	85,000	—
差入保証金の増減額 (△は増加)	160,835	△53,595
その他	△24,965	△3,465
投資活動によるキャッシュ・フロー	179,217	△193,089
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△20,000	480,000
長期借入金の返済による支出	△75,900	△65,900
社債の償還による支出	△110,000	△90,000
自己株式の取得による支出	△381	△110
配当金の支払額	△1,486	△1,423
その他	△3,436	△6,071
財務活動によるキャッシュ・フロー	△211,204	316,494
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	737,893	312,565
現金及び現金同等物の期首残高	2,458,541	2,589,540
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,196,435	2,902,105

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自 平成22年3月21日 至 平成22年12月20日）

当社グループは、婦人服製造販売事業以外に事業の種類がないため、記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自 平成22年3月21日 至 平成22年12月20日）

本邦以外の売上高はないため、記載を省略しております。

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間（自 平成22年3月21日 至 平成22年12月20日）

海外売上高はないため、記載を省略しております。

[セグメント情報]

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、「卸売事業」、「小売事業」を報告セグメントとしております。

「卸売事業」は婦人服等の卸販売、「小売事業」は婦人服等の小売販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年3月21日 至 平成23年12月20日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	卸売事業	小売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,431,257	1,655,145	9,086,402	—	9,086,402
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,431,257	1,655,145	9,086,402	—	9,086,402
セグメント利益	408,393	88,604	496,997	—	496,997

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年3月21日 至 平成23年12月20日）

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。